



会長あいさつ

山形県在宅保健活動者連絡協議会(いつわ会)

会長 吉田 美智子

私は、このたび前水上会長の後任としていつわ会会長を務めます吉田美智子です。長年務められた水上会長さんのようにはいかないと思いますが、水上会長さんの思いを大切に務めさせていただきます。どうぞよろしくお願いいたします。

さて、新たな幹事の皆さんを迎え今年度がスタートしました。知恵を出し合い7月7日に研修会を開催しました。皆さんの関心の高い「認知症」について学ぶことができました。多くの皆さんの御参加ありがとうございました。ブロックごとの研修会も順次開催して参ります。

皆さんからいただいたアンケートや御意見を参考に研修会を決めています。御意見や感想をぜひお寄せください。いつわ会は、市町村への支援協力も大切な役割ですが、会員同士の交流、自身のためになる研修の機会にもしています。「私の身になる研修」を心がけてまいります。

皆さん御存じのように異常気象が続き災害も発生しています。前水上会長さんも投稿してくださっていますが、全地域をあげて災害についての体験研修をと考えております。皆さんはどのように考えますか。御意見をお寄せください。

令和7年度事業計画

「いつわ会」では会員のニーズに応えた研修会の開催や会員相互の交流、市町村等が行う保健事業の支援をしています。

事業名	日 時
役員会	第1回 令和7年 4月11日 第2回 令和7年 6月 9日 第3回 令和8年 1月
健康まつり等への支援	随時
救護	随時
高齢者地域サロン	随時
会報発行	2回発行予定(8月、3月)
いつわ会研修会	令和7年7月 7日
地区ブロック研修会	6ページ参照
東北地方在宅保健師等会 連絡会議(秋田市Web開催)	令和7年12月4日
都道府県在宅保健師等会 全国連絡会	令和7年11月下旬
活動状況アンケート調査	令和8年3月

令和7年度いつわ会役員

(任期 令和7年4月1日～令和9年3月31日)



前列左から 小松幹事 山田(あ)幹事
吉田会長 今野副会長 竹田幹事
後列左から 三浦幹事 齋藤幹事 柏倉幹事
山田(晴)幹事 須藤幹事
高橋幹事 白田常任幹事

令和7年度 いつわ会研修会

日時 令和7年7月7日(月)

場所 ホテルメトロポリタン山形

今年度の「いつわ会研修会」は、86人(会員62人・会員以外24人)の参加を得て開催されました。そのうち43人はWebで参加しました。



開会の挨拶をする吉田会長と国保連合会の武田事務局長

研修会日程

10:00 開会
あいさつ

10:10 講演
「認知症と共に生きる」
講師 認知症当事者相談窓口
(おれんじドア)
代表 丹野 智文 氏

11:30 情報提供
「山形県の高齢化の現状と地域包括
ケアシステム、県の取組み」
説明者 山形県高齢者支援課
地域包括ケア推進専門員
土屋 真幸 氏

12:00 閉会



研修会の内容から

講演

「認知症と共に生きる」



認知症当事者相談窓口
(おれんじドア)
代表 丹野 智文 氏

【講演 概要】

- 認知症と診断され12年。進行を自覚しつつも
今も仕事と啓発活動に取り組める理由と日常生活の具体的な工夫について
- 家族や専門職の人に伝えたいこと
- ピアサポートの力について

参加者アンケートから

- ・認知症の家族と暮らしています。認知症本人、家族、支援者それぞれの立場の気持ちや対応の心構えなどとても共感しました。認知症になってもできることはたくさんあることを教えていただきました。
- ・認知症から何もできなくなってくるという認識は間違い。失敗してもやり方を工夫し成功体験をする事で自信を持ち、新しい事もやろうという意欲につながり病気とともにいきいきと生きていける。
- ・自分の偏見で当事者の選択や自由を奪っていたと感じました。先回りしがちなので職場(老健)でより活かしていきたい内容でした。決めるのは当事者自身。力を信じてサポートする。自分のためにもAIの活用も必須と感じました。
- ・当事者としてのこれまでの体験をお話くださったこととても感銘いたしました。いつ自分に起こるかもしれないことです。心の準備、対応の仕方とても勉強になりました。
- ・認知症＝おわりではない。誰でもなりうる恥ずかしい病気ではない。一人で行動できるし新

特定健診・特定保健指導受診率向上対策事業

しい人生を作ることにはできる。携帯電話を使いこなし、ITを利用する。フリーWiFiはぜひ取り入れてほしい。

- ・とても力強い御講演でした。「新しい認知症観」にぐっと近づけた気がします。これまで、当事者のできることを阻害する支援が多かったと反省します。丹野さんの思いや発想から、本当の意味でその方の尊厳を守ることを学びました。「みんなが安心して認知症になれる世の中!!」を目指して、私も足元からできることに取り組もうと思いました。
- ・最後の丹野さんのことば「私自身が認知症になっても住める山形(地域)」がガツンと心に響きました。認知症の相談＝介護保険サービスになっていたなあと反省しました。

情報提供

「山形県の高齢化の現状と地域包括ケアシステム、県の取組み」



山形県高齢者支援課
地域包括ケア推進専門員
土屋 真幸 氏

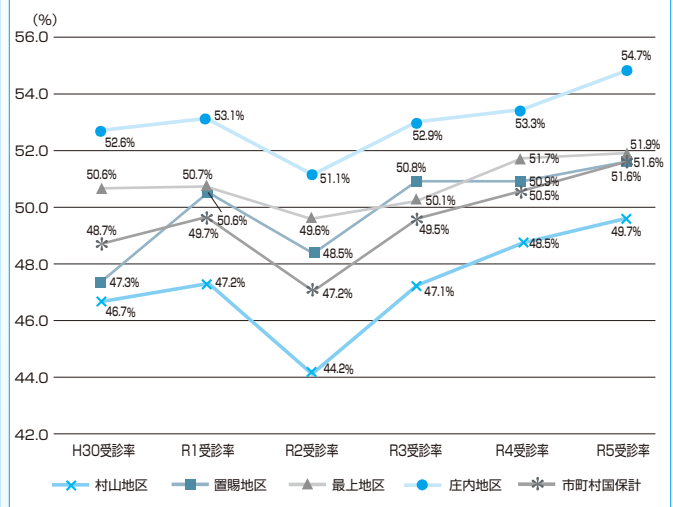
【情報提供 概要】

- 県の高齢化の現状、地域包括ケアシステム
- やまがた長寿安心プラン、山形県認知症施策推進計画に基づく県の取組みについて

参加者アンケートから

- ・山形県内の高齢者に対する取組みが分かった。
- ・「互いに支え合いながら高齢者一人ひとりが自分らしくいきいきと安心して暮らせる山形県の実現」の取組み、システムなど内容がしっかりしていると思いました。
- ・「認知症の人が自分らしく暮らし続けることができる共生社会の実現」県の取組みが理解できました。
- ・高齢化が進む中で、地域ぐるみで介護予防にとりくまなければならないと思いました。

特定健診受診率の推移(地区別)



令和6年度「いつわ会会員活動アンケート」集計結果 (抜粋)

I 調査期間 令和7年2月から3月
II 配布数252 回答数144 回収率57.1%
III 調査結果

1 令和6年度に行った保健活動内容(複数回答)

市町村保健事業関係 2,684回/年 78人

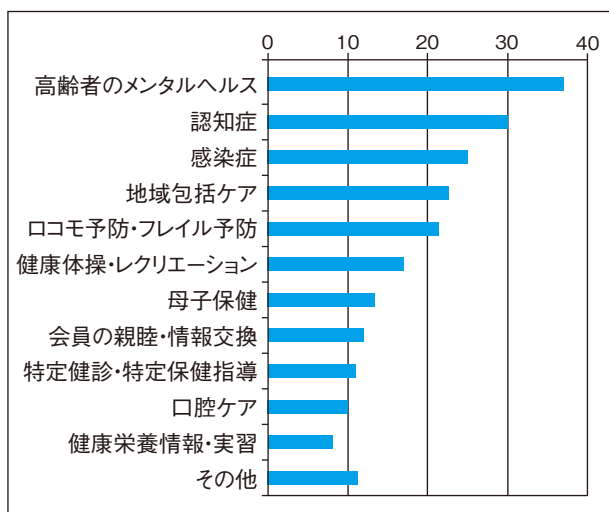
- 1位 乳幼児健診・母子歯科事業など(34人)
- 2位 保健指導・健康教育(24人)
- 3位 介護保険関係(20人)

その他(地域・施設) 2,470回/年 61人

- 1位 地域での支援・ボランティア(31人)
- 2位 民生委員等地域の委員(24人)
- 3位 事業所における保健指導等(17人)

※市町村保健事業関係の活動は昨年より延べ回数及び人数ともに減少しました。一方、地域や施設でのボランティア活動等は昨年とほぼ同様です。

2 全体研修会の希望内容について(複数回答)

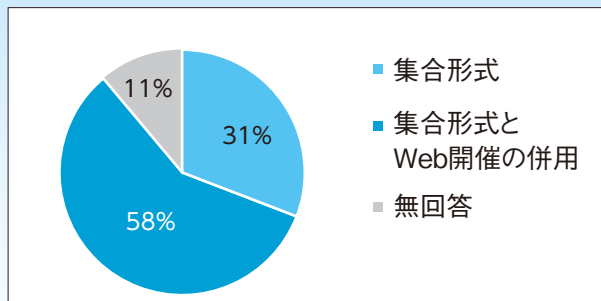


※「高齢者のメンタルヘルス」の希望が一番多く、次に「認知症」「感染症」と続いています。昨年と比べ「認知症」と「感染症」の順位が入れ替わりました。



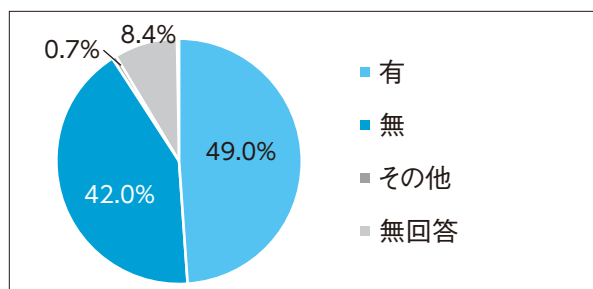
3 全体研修会の参加形式

※約6割の方が集合形式とweb併用開催希望しています。



4 Zoomを使用できる環境

※使用できる環境にある方は約5割。

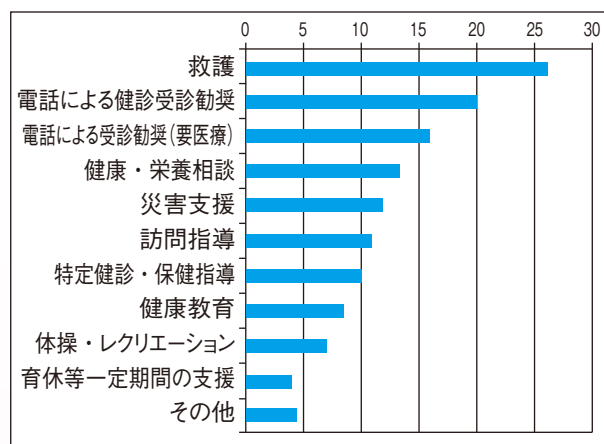


5 市町村等へ支援協力について

回答者144名のうち、支援協力できる57名

- 1位 救護(26人)
- 2位 電話による健診受診勧奨(20人)
- 3位 電話による受診勧奨(要医療)(16人)

支援協力できると答えた57名の項目内訳(複数回答)のグラフです。



※昨年度より支援協力できると答えた方が微増しました。支援協力の項目では、「救護」が最も多く、次に「電話による健診受診勧奨」、「電話による受診勧奨(要医療)」と続いております。

6 いつわ会活動への要望、近況等

寄稿は令和7年3月(敬称略)

保健師 阿彦 里美

高齢の両親と同居し、介護が必要となっているため、長時間家を空けることができません。可能な限り研修会には参加していきたいと考えていますので、今後ともよろしくお願いいたします。

看護師 鈴木 式子

最近ブロック研修会でも時間がなく、会員同士のコミュニケーションが取れない状況です。感染対策をしっかりとりながら調理実習をし、一緒に食べながら近況等話し合えたらと思います。

看護師 川村 幸子

高齢化社会が進む中明るく過ごせますよう、いつわ会の活動がその一助となるよう、よろしくお願いします。

保健師 瀬尾千代子

80歳を超えたとともに膝痛があったり昔の人はよく年は取りたくないと言っていたことが身にしみるこの頃ですが、気の持ちようで前向きに自分の体と付き合っていこうと思います。若い方たちの活躍を頼もしく見ながら人生まだまだ楽しみたいと思います。

助産師 小松 邦子

いつも興味深い講演などありがとうございます。新しい情報がなかなか入らないので助かります。

保健師 高橋 照美

学ぶ時間が少なくなっていていつわ会の研修は貴重な時間でした。2年間お世話になりました。

保健師 佐藤さえ子

対人を業務としている職種でもあり、役員会・研修会・交流会は集合形式を基本としてほしい。

保健師 長南 智美

年を重ねるごとに行動範囲が狭くなっていることに「はっ」としてしまいます。社会とつながることの重要性を再認識!いつのまにか症候群にかからないようしっかりつながって(いつわ会と)今を維持していきたいと思います。これからもよろしくお願いします。

保健師 佐藤 節子

まだまだ事業・活動がおもうように実施できず、役員の皆様は大変ご苦労されていることと思います。(日頃の活動に感謝です。)

保健師 水上由美子

大震災が起こったりコロナのパンデミックがあったり何がこれから起こるのか。これまでも協力してきた実績はありますがどんなことがあってもいつわ会の人たちも連携しながらお手伝いできる体制ができるといいと思います。災害協定の準備も必要かと思っています。

准看護師 永峯 たつ

会報にて活動・研修会の内容を知り自分の人生にも大変役に立っています。今年は満80歳。車も手放すことを考えていますので近くでの出来るところを行っています。100歳体操(口の体操も)を令和5年4月より始め代表をやっていますが、考えさせられる事も多いですが自分の健康維持と思って続けたいと思ってます。今でもいつわ会で学んだ事がちょっとした時に役に立ちます。これからも出来る所には同僚の力も借りて出席したいと思っています。

看護師 須貝 昌江

いつも活動内容楽しみにしています。

看護師 鈴木 京子

7月の水害災害時戸沢村は、色々な方の支援をいただきました。他の会合でいつわ会会員の栄養士さんのボランティア活動を報告していただきました。実に臨機応変な工夫でした。いつわ会でも研修していただけたらと思います。

看護師 沼澤 芳子

定年後の継続雇用で働いている産業看護師です。来年は勤務が終了となります。老化現象も着実に進んでいる今日この頃、今後は自分の健康管理(頭と体)と思っています。

令和7年度ブロック研修会予告

★ 村山ブロック

日時 9月11日(木) 10時～12時

場所 山形県国保会館(寒河江市)

内容 ○講話 「いきいき百歳体操とサロン活動を
実施して」

講師 前いつわ会会長 水上 由美子 氏

○講話 「健幸に過ごすために
～オーラルフレイルを予防しよう～」

講師 歯科衛生士 飯田 陽子 氏

★ 最上ブロック

日時 9月5日(金) 13時30分～15時

場所 新庄市民プラザ

内容 ○災害支援に関すること(活動紹介)
「県栄養士会災害チーム活動について」

講師

「ボランティアの受け入れ活動等を実践して」

講師 戸沢村社会福祉協議会

事務局長 八鍬 真生 氏

★ 置賜ブロック

日時 9月17日(水) 13時30分～15時20分

場所 南陽市赤湯公民館(えくぼプラザ)

内容 ○講演 「ロコモと高齢期に多い整形外科的疾患」
講師 みゆき整形外科クリニック

院長 齋藤 聡 氏

○実技指導 「じっくりロコトレ&チャレンジ体操」

講師 健康運動指導士 梅津 順子 氏

★ 庄内ブロック

日時 10月10日(金) 13時30分～15時

場所 三川町子育て交流施設「テオトル」(三川町)

内容 ○講話 「食べることは生きること」

講師 言語聴覚士 田口 充 氏

うしお荘支配人 延味 克士 氏

他ブロックへの参加も可能です。御希望の方は、
事務局まで申し込み下さい。

(連絡先下記参照)

会員の状況

会員数 256名

(令和7年8月1日現在)

令和7年13名の方が
新たに入会されました。
皆様どうぞ
よろしくお願いします。

職種・地区別

	村山	最上	置賜	庄内	合計
保健師	42	17	15	27	101
助産師	14	0	0	5	19
看護師	16	8	13	36	73
准看護師	3	1	3	0	7
管理栄養士	9	5	4	5	23
栄養士	2	1	2	0	5
歯科衛生士	13	3	9	3	28
合計	99	35	46	76	256

年齢構成(平均年齢 69歳)

年齢階層別	人数
40歳未満	0
40～49歳	4
50～59歳	18
60～69歳	118
70～79歳	90
80歳以上	26
合計	256

お知らせ

特定保健指導従事者研修会は11月6日(木)栄養指導をテーマにWeb開催予定です。活動アンケートで通知希望の方に御案内予定にしております。また、第66回山形県国保地域医療学会は、11月15日(土)にホテルメトロポリタン山形で開催予定です。今後、皆様に御案内をいたしますので、ぜひ御参加ください。

会員募集

入会費・会費無料

あなたも
楽しく活動してみませんか?

今までの専門職としての経験を、
自分の住んでいる地域の健康づくりに
役立てましょう。
お知り合いの方にぜひ御紹介を
お願いします。

事務局

〒991-0041

山形県寒河江市大字寒河江字久保6番地 国保会館内
山形県国民健康保険団体連合会 事業推進課保健事業係

TEL 0237-87-8002

FAX 0237-83-3353

申し込み、問い合わせは、事務局連絡先まで

印刷 コロニー印刷